

目 次

□巻頭言 子供達の眼	渡 辺 辰 生	/ 1
首都高速湾岸線荒川湾岸橋架橋の計画	木 村 康 宏 木 田 幸 雄	/ 2
北総東部用水の送水機構	田 窪 久 夫 阿 部 道 之	/ 9
旧吉野川河口堰建設事業の現況	立 川 耕 平	/ 16
—今切川河口堰建設工事—		
九州縦貫道御船工事における軟弱地盤改良工事	宮 崎 哲 至 八 戸 裕 裕	/ 21
関門橋の床版コンクリート打設	仁 木 理 夫 風 間 徹	/ 28

グラビヤ—関門橋の完成まで

河川用ゲートの自動制御方式と実用例	奥 山 光 雄	/ 36
ブレーカ遮音ボックスについて	玉 記 章 次	/ 43
□随 想 海外事業団研修生の先生	東 孝 行	/ 47
沖縄国際海洋博覧会会場建設の現状と問題点	松 岡 宏 吉	/ 50
日本列島沿岸海域の地質構造と		
沿岸海洋開発システム	松 石 秀 之	/ 53
海底地形および地質調査	西 村 隆 二	/ 66
海底地形および地質調査機器	西 村 鉄 雄	/ 70
—水中音響機器について—		

□部会研究報告

建設機械用タイヤについて (その2)	機 械 技 術 部 会 タイヤ技術委員会	/ 76
—現場技術者のための基礎知識—		

□建設機械化講座 第124回

現場フォアマンのための土木と施工法		
XVII. 建設機械概説		

11. アスファルト舗装機械	篠 川 之 俊	/ 82
----------------	---------	------

□工事現場巡り

新仙台港を訪ねて	三 上 千 代 美 熊 谷 哲 男	/ 89
新潟東港掘込工事を見る	西 牧 剛 梅 田 正 孝	/ 94

□文献調査

舗装速度の速い超広幅スリップフォーマ	広 報 部 会 文献調査委員会	/ 98
--------------------	--------------------	------

□支部だより

第11回建設機械展示会開催	関 西 支 部	/ 100
ニ ュ ー ズ	(編 集 部)	/ 101
行 事 一 覧		/ 102
編 集 後 記	(内 田・斎 藤)	/ 104
既刊目次一覽		

◀表紙写真説明▶

NP-GOMACO C-450

コンクリート表面仕上げ機  
日発実業株式会社

写真は日本道路公団の関門架橋における床版工事に活躍するNP-GOMACO C-450である。

本機の表面仕上げ能力は毎時 233 m<sup>2</sup> であり、打設幅は最小 1.8 m から最大 36 m まで自在に伸縮が可能で、平坦性は 3 m 定規で 3 mm 以内である。標準偏差値は 1.2 という結果が出ている(関門橋データによる)。

関門架橋で使用した C-450 の機械幅は 14.4 m であり、重量は約 1.9 t という軽量なものである。また、C-450 の前方にスプレッドの役割を果たす RC コンベヤをセットすることによって床版仕上げはほとんど機械化されることになる。なお、この機械は橋梁の床版だけでなく、ビルの上間、高速道路の床版、高速道路、駐車場、滑走路等のコンクリート表面仕上げ省力機として各方面より注目を浴びている。